

宇出津病院の礎を築いた

なかえとしろう 中榮敏郎 院長

(平成5年11月10日没・享年82)



執刀する中榮院長（写真右）

中 榮敏郎医師は、金沢大学医学部第二外科出身。大学時代は教授の信頼が厚い優秀な外科医だったという。上町の開業医であった父親の跡を継いで開業し、昭和27年9月から昭和46年6月まで宇出津病院の院長を務めた。厳しい人格で、時には若い医師や看護師を怒鳴りつけることもあったが、常に患者を大切にしてきた。

医師のすごさは医師にしか分からない。中榮医師と共に勤務した経験を持ち、後に金沢医科大学呼吸器内科教授となった大谷信夫医師は「先生の臨床家としての見識は、大学では経験できないほど幅広く、深いものであった。わたしの臨床医としての原点は、中榮先生との巡り合いなしには考えられない。この貴重な経験を若い医師にも伝えていきたい」と言い切る。



広報のと

第46号

平成20年12月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-0492
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-9-7番地1

☎：0768-62-10000
能登町URL：http://www.town.noto.shikawa.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

広報のと
No. 46
2008.12

能登



今年を笑い飛ばす。

12

平成20年

11月7日に行われた石川県指定無形民俗文化財「鶴川のイドリ祭り」は、当番が作ったもちをイドリ（けなすの意味）合う奇祭。稲作の象徴であるもちをけなし、笑い飛ばすことで翌年の勤労を誓い、豊作を祈願する。